

令和5年度(2023年度)市民委員意見交換会

開催日時：令和5年(2023年)10月21日(土曜日) 10時00分から12時00分まで

グループワークの結果(主な意見)

■トピック1(会議に参加した経験を話そう)

●会議の雰囲気や内容について

- ・会議を通して、自分の体験を市役所に伝える機会があつて良かった。
- ・市民としてちゃんと意見を言えるのか不安もあつたが、会議に参加してみると意外と言いたいことを言えると思った。
- ・自分が参加した会議のテーマは専門外だったが、それだけに学びがあつた。
- ・会議中のグループワーク等、当初の予定になかつた出番が多くあり、それが楽しかつた。

●市民委員に期待される役割について

- ・市民委員に求められている意見がどういうものかわからない。事前に、市役所が市民委員に何を期待し、何のために意見を聞くのかをもっと明らかにしてほしい。
- ・市民委員は、何をやっているのか、何をやればいいのかよくわからず戸惑うことがあるので、気軽に参加できるよう情報発信したほうがよい。

●会議での発言や議論について

- ・会議の回数が少なく、十分に意見を言えなかつた。
- ・オンラインでの参加に対して少し疎外感がある。
- ・そのテーマについて討議をしたいと思つて会議に参加したが、参加した会議では、委員が順番に意見を言つて、その発言について深掘りする機会がなかつた。
- ・専門家等の結論ありきみたいな、市民を参加させたいという行政側の既成事実作りみたいな印象を受けることがあつたので、参加や運営の仕方を改善してほしい。
- ・意見を言つた後、最終的に計画のどの部分に反映されたのかを知りたい。

●市民委員とのコミュニケーションについて

- ・専門家の意見が優先されている印象を受けた。
- ・会議資料や発言内容に、カタカナ言葉が多くてわかりにくい。
- ・専門家の発言が分かりづらいことがあり、議論についていけず、発言しづらいことがあつた。

●その他

- ・事前に市役所から送られてきた会議資料の読み込むポイントを教えてもらつて良かった。
- ・面接で、採用する立場(市役所)からだけでなく、応募者側からも双方向で質問できて良かった。
- ・自分は、平日の昼間に来るのは難しいが、子育て世代だと、逆に土日平日夜も難しいので、会議の開催時間の設定は市民参加を進めるうえで課題だと思う。
- ・委員に占める市民の割合が少なく、会議の場のみで市民の意見を十分に拾えているか。
- ・公募で市民委員を選ぶ際の面接の回数や内容が参加した会議によって異なることが分かつた。

■トピック2(今後の市民委員の選び方について)

●市民委員間におけるギャップとその解消について

- ・市が公募の市民委員と無作為抽出名簿から選出する市民委員に期待している役割が異なるのではないか。
- ・市民委員の選出過程の違いから市民委員本人の意欲や知識も異なっているので、いきなり会議の場で混ぜ合わせると互いにギャップが生まれてしまうのではないか。
- ・名簿から選出する市民委員は市職員からの電話依頼のみではなく、事前に基本的な知識を習得できるようサポートし、足並みを揃えるとよいのではないか。

●無作為抽出名簿による市民委員の選任について

- ・もっと幅広い年齢や立場の方々の意見を集める意味で、名簿というのは良い方法だと思うが、市職員からの電話依頼だけではなく、市民が内容を吟味できるような集め方があるのではないか。
- ・名簿による市民委員選任に関する制度があることについて初めて知った。自分からは参加しないが、市から依頼があったらちょっと参加しようかなという意識も出てくると思うので、幅広い市民の意見を聞くための良い手段だと思った。

●公募による市民委員の選考方法について

- ・小論文は、応募するにあたって自分の意見をまとめるという点ではとても良い反面、敷居が高いとも感じる。
- ・公募、名簿のほかに3つ目の制度として、希望登録制というのを作ったらどうか。市民委員に興味がある人を事前に登録して名簿を整備しておけば、次に関連する会議があったときに参加でき、過去の経験を生かすことができるのではないか。

●その他

- ・委員同士の横のつながりができ、任意で意見を言い合えるような会が主体的に生まれると、よりよいのではないか。
- ・若い人が市民委員に少ないので、若者に届く手段（SNSで広報する、図書館に何か貼る、大学等の教育現場に向いてアピールするなど）での、広報の手段を考えてほしい。

グループワークの様子



写真1) 各テーブルの様子



写真2) 全体での意見共有の様子